

これまでに無い高出力・高音質な骨導補聴具に関する開発 概要  
株式会社ディ・シー・シー

【 報告書PDF 7.1 MB 】

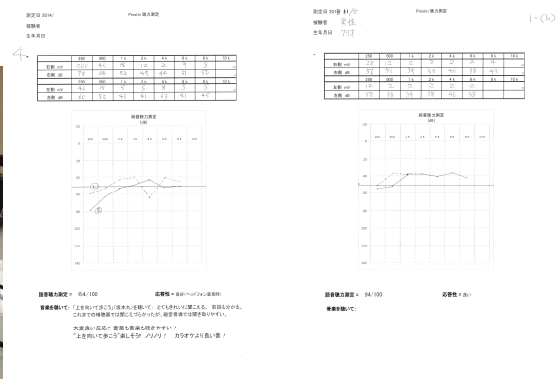


※全体の概要

既発売の高度難聴者にも対応できる磁歪式骨導補聴器プレスティン®「きのこ」用のバッテリー駆動携帯型アンプを開発して、従来の使用場所の制約を無くして利用範囲を広げることを目的に開発を進めました。



効果のある難聴の種類の種類には、モニターの聴力検査をして、専門医が分析します。どの様な機能を持たせるかの仕様を決めるにも、モニター時に聞き取りをしてニーズを把握する必要があります。私達は既発売のプレスティン®「きのこ」据え置き型システムを使い5ヶ月に渡り40症例のモニターを行いました。



## 加我君孝先生によるプレスティン®「きのこ」の有効性分析結果

### 適している難聴の種類

- 軽中度の伝音性難聴
- 軽中度の感音性難聴
- Auditory Neuropathy

### 良好（補聴の改善が見られた）難聴の種類

- 高度感音性難聴
- 重度感音性難聴

### 効果無し

- 大脳皮質障害

### 試作した機器またはシステム プレスティン® ポータブル「きのこ」

ポータブル・アンプの利用方法を考えると、これは社会にとって非常に有用なコミュニケーション機器が誕生したことが分かります。これはノーマライゼーション社会にとって重要な開発成果物であり、ユーザにとっても、社会にとっても、大きなメリットがあります。

従って、(障害者に対する) 合理的配慮が義務化される全国の公共機関・公共施設にプレゼンテーションをして普及を図り、多くの人が利用できるようにしたい。



## ポータブル補聴具の活用

### ■公共施設で

手話や筆記を介さず、難聴者に直接正確に情報を届けることができる → 手話通訳者不足問題の解決、個人情報保護、磁気誘導ループのように配線を床下へ埋設する工事不要

- 国、自治体・・・役所、公民館、国公立病院、保健所、警察、交番、公証役場、裁判所
- 民間・・・空港・駅などの窓口・案内所、医療機関、介護事業者、郵便局、金融機関、宿泊施設、会議室、百貨店他

### ■教育現場で

難聴児と健聴児のインクルーシヴ教育の実現

ポータブルのため磁気誘導ループの工事不要、特定エリアに縛られず、自由な座席レイアウトが可能

### ■在宅介護支援

- 訪問診療、訪問看護で医療・福祉関係者が持参
- 在宅で高度難聴の要介護者が電話とつないで遠隔医療相談

### ■エンターテイメント

最後まで人生をエンジョイしましょう

- 文化センター、コンサートホール、劇場、映画館、観光バス

■一人一人の無線マイクでおしゃべりの輪の仲間入り。マイク増設で8人の声が同時に聞こえます。

コミュニケーションを楽しんで脳が活性化、疎外感の解消

- 家庭の団欒、デイサービス、老人ホーム、老人カフェ

■筆談できない状況で、利用者の目的を確認できる

- バス、タクシー、飛行機